

副本

平成23年(ワ)第886号 浜岡原子力発電所運転終了・廃止等請求事件

原告 石垣清水 外32名

被告 中部電力株式会社

証拠説明書 (22)

令和4年4月15日

静岡地方裁判所民事第2部合議B係 御中

被告訴訟代理人弁護士 奥 村 敦 軌

外9名



前記当事者間の頭書事件につき、被告は、提出書類について下記のとおり証拠の説明をする。なお、乙B第114号証の2には、被告において、下記の立証趣旨に直接関連する箇所を下線を引いた。

## 記

### 乙B号証（原子力発電所の自然的立地条件（地震、地盤、津波等）に関するもの）

乙B第114号証の2 静岡県第4次地震被害想定調査（第一次報告）（抜粋）

[表紙, 第Ⅱ編目次, Ⅱ-1~30頁]

作成者 静岡県

作成年月日 平成25年6月27日

原本・写しの別 写し

立証趣旨 静岡県は、静岡県全域を対象として地表の震度分布等を求めるに当たって、統計的グリーン関数法に用いる地震基盤面から工学的基盤面までの地下構造モデルについて、国の地震調査研究推進本部により日本全国の広域の地下構造を対象に作成されたモデル(全国1次地下構造モデル)を基に、静岡県内の地震観測点における地震観測記録と平成24年度に実施した微動観測等の結果を再現できるように調整を行い、また、工学的基盤面から地表までの浅部地盤の影響について、静岡県全域を250m四方の範囲毎に区分し、ボーリングデータを収集して、中央防災会議(2001)によるN値と弾性波速度(S波速度)との関係式を用いて設定した弾性波速度(S波速度)等の物性値を付与してモデルを作成して考慮したとしていることを証する。

(静岡県のホームページからダウンロードした。)

以上